

会 議 記 録

会議名称	平成 28 年度第 3 回 杉並区立図書館協議会
日 時	平成 28 年 10 月 1 日 (土) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 40 分
場 所	中央図書館 地下 1 階 視聴覚ホール
出席者	委員 渋谷、中島、多田、原田、平尾、折戸、田中、菅野、秋永 区側 中央図書館長、中央図書館次長、管理係長、企画運営係長、 施設整備担当係長、資料相談係長、事業係長、 柿木図書館長、高円寺図書館長、西荻図書館長、永福図書館長、 宮前図書館長、成田図書館長、高井戸図書館長、方南図書館長、 南荻窪図書館長、下井草図書館長、今川図書館長
配付資料	資料 1 平成 28 年度杉並区立図書館利用者満足度調査結果 (概要) 資料 2 「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」の実施報告に ついて (別添: 「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」 実施報告書) 資料 3 杉並区実行計画 改定案 (平成 29～31 年度) ・広報すぎなみ (9/1 特集号) ・ことばと文字とテクノロジー ・石井桃子さんの映画会 ・杉並区の図書館～図書館要覧～ (平成 28 年度版)
会議次第	1 開会 2 中央図書館長あいさつ 3 議題 【報告事項】 (1) 平成 28 年度杉並区立図書館利用者満足度調査の結果について (2) 「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」の実施報告につい て (3) 杉並区実行計画 (案) 等の改定について (4) その他 4 閉会

○副会長 それでは時間になりましたけど、出席ご予約の委員が1人まだお見えにならないんですけど、始めてよろしいでしょうか。

○中央図書館次長 よろしくお願ひします。

本日、会長から欠席のご連絡をいただいておりますので、杉並区立図書館協議会の規則第5条4により、副会長が会長の職務を行うということで、よろしくお願ひいたします。

○副会長 はい。規定に従って、会長の職務のかわりを務めさせていただきます。

それから、本日は、お三方から欠席のご連絡をいただいております。

それでは、議題に入る前に、協議会の会議録の確認の件で事務局より説明がありますので、これを先にお願ひしたいと思ひます。

○中央図書館次長 はい。今年度の第1回の会議録の調製を終えて、メールで事前にお送りしたんですが、各委員の発言について何かご指摘等がございますでしょうか。ありましたら、この場でおっしゃっていただけると助かります。特にご意見等はございませんでしょうか。

○副会長 委員の方は1回目の議事録をお読みいただいておりますか。

○中央図書館次長 それでは、何かございましたら、後ほどメールでご指摘いただけますでしょうか。

○副会長 それ、いつまでにとすることはありますか。

○中央図書館次長 5日ぐらいまでにお返事いただひて、修正があれば修正し、それで確定とさせていただきます。後日、事務局のほうで図書館ホームページに掲載いたします。後日お送りする2回目の議事録も、お手数ですがご覧いただひて、何かあればまた14日ぐらいまでにお返事いただけたらと思ひております。それで何か修正があればまた修正させていただきますということで、よろしくお願ひします。

○副会長 議事録については、そのようによろしくお願ひいたします。それでは、議事に入りますが、配付資料の説明を事務局からお願ひいたします。

○中央図書館次長 はい。では、まず私のほうで確認させていただきます。最初に次第が一番上にA4判1枚でございます。その後、資料1として「平成28年度杉並区立図書館利用者満足度調査結果（概要）」がございます。その後、資料2「「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」の実施報告について」。次に資料3、杉並区実行計画と施設再編整備計画についてでございます。その後が、中央図書館改修を考える区民ワークショップ実施報告書です。次に、広報すぎなみ、こちらお手元でございますでしょうか。あと、

「石井桃子さんの映画会」と「ことばと文字とテクノロジー」のチラシ、A4判1枚ずつです。それと杉並区の図書館の図書館要覧でございます。全てお手元でございますでしょうか。

○副会長 それでは、議題に入らせていただきます。

本日は報告事項が3件ということですが、開催時間、毎回申し上げてはいるかと思うんですけども、全体で1時間半程度ということですので、よろしくご協力のほどお願いいたします。この後ご予約がとおりになる方もいらっしゃいますので、円滑にできるよう、よろしくお願いいたします。委員の発言につきましては、できましたら全員が偏りなく平等になさっていただけるよう、ご協力をいただければと思います。

それでは、初めに、図書館長からご挨拶をお願いいたします。

○中央図書館長 委員の皆さん、こんにちは。中央図書館長でございます。週末の大変お忙しい中、協議会のほうにご出席いただき、ありがとうございます。今年度第3回目の協議会ということになりますけれども、よろしくお願いいたします。また、委員の皆さんには、評価部会で確認していただいた方針に基づいて、夏の暑い時期に図書館評価の作業などにもご尽力いただいたことかと思えます。改めて、心より御礼を申し上げます。

さて、台風が来たり、非常に天候不順な状態が続いていましたが、カレンダーも改まり、今日は10月1日でございます。今年も11月3日の文化の日を挟んで、第70回を数える読書週間が行われますけれども、区のほうでも今月11日の広報すぎなみで、1面と2面を使って図書館特集の記事を掲載し、読書週間に呼応してさまざまな行事を各館で実施する予定でございます。このうち中央図書館のほうでは、今日から展示会をスタートしていますけれども、石井桃子さんの業績を振り返るということで、映画会と展示会を開催いたします。また、区内大学連携の取り組みの一つとして、先ほどチラシをご紹介させていただきましたが、明治大学様のご協力をいただいて、講演会も10月22日に実施いたします。そうしたものにも、お時間があれば、委員の皆様のご出席をいただければと思っております。

本日の協議会の議題は、報告事項が中心になりますけれども、図書館評価の取り組みの一つでございました利用者満足度調査の結果、それから2点目が、中央館改修に関連して、さまざまな区民の皆様からご意見などをいただく取り組みの一つでございます中央図書館改修を考える区民ワークショップの実施結果、さらには図書館も含む計画事業を盛り込んでおります実行計画の改定案について、それぞれ情報提供をさせていただく予定でございます。いずれも、とても大切な案件でございますので、各委員の皆様から闊達なご意見を

賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたしますします。

○副会長 ありがとうございます。それでは、報告事項(1)番の利用者満足度調査の結果について、お願いいたします。

○中央図書館次長 それでは、今年6月の金曜日から日曜日の3日間に行った利用者満足度調査について、結果がまとまりましたので、企画運営係長のほうからご報告申し上げます。

○企画運営係長 企画運営係長でございます。

先日いろいろ、図書館サービス評価の視察及び評価票の提出につきましては、お忙しいところありがとうございました。また、現在事務局で資料の調製を進めております。よろしくをお願いいたします。それでは、本日は、平成28年度の利用者満足度調査がまとまりましたので、概要を説明させていただきます。座って説明をさせていただきます。

まず、1番の1ページ目から順を追って主なところを説明させていただきます。実施概要でございますが、対象、実施方法は昨年同様ということで、中学生以上の図書館の来館者に対しまして、カウンター及び館内でのアンケート用紙を配布して、回収ボックスによって回収するという方法になってございます。質問項目につきましては、前回、前々回の協議会でもお話ししておりますが、昨年度より1項目減し、各項目にあった要望、提案欄を削除するといったところが前回と変わっているところでございます。そして、A4判の表面1枚でこちらの質問項目を記載してございます。④の実施時期につきましては、6月の3日間、金・土・日ということで、各館記載のとおりになります。

続きまして、2ページ目をごらんください。こちらのほうは利用者満足度調査の結果ということで、回収の総数等を2ページには書いてございます。①番のアンケートの配布・回収数3,200枚ということで、前回実施をいたしました12月のものに比べ、回収数は若干少なくなっていますが、7%減ぐらいで、大きな開きはなかったということになります。回答率は76.3%で、前回よりも3%弱ですが上回る結果になったということでございます。

続きまして、②の回答者の状況につきましては、年代、そして来館頻度ということでございますが、前回同様になってございます。年代は40代、50代、60代、30代の順となっております。来館の頻度につきましては、1カ月に数回、そして1週間に数回ということで、合わせて87.5%の方が回答を寄せていただいたということで、比較的利用されている方の回答になってございます。

続きまして、3ページに移りますが、アンケート調査項目ということで、先ほどお話し

しました。項目は、前回と比較して1項目、④の図書館サービスについてのところが減ってございます。これ以外に一番下の欄に自由意見の記載欄を設けてございます。

続きまして、4ページになります。こちらのほうはアンケート調査項目に対する回答状況ということで、アンケートの結果になってございます。

まず、①の図書館の職員・資料・施設についてということで、こちらの項目を帯グラフにしております。このそれぞれの項目についての傾向につきましては、70%以上の「満足」「やや満足」というものを足したものとなっておりますので、かなり高い満足度を、昨年同様示しているということになってございます。

続きまして、その下の図書館の職員について以下でございますが、グラフにつきましては棒グラフで5年間の経年の比較ができるようになっております。そして、まず職員の対応につきましては、「満足」「やや満足」を合計しますと96.9%、前は96.5%ということで、若干増ということになってございます。

続きまして、5ページでございますが、図書館の資料についてということで、「借りたい図書」、「新聞、雑誌」の資料、また書架の状態ということでアンケートをとった結果、「やや満足」を合計すると、借りたい図書は74%、新聞、雑誌の資料が78.9%、それから書架の状態については85.3%ということになってございます。で、前回の調査に比べて、書架の状態についてが3.2%ほど減になっているといった状況でございます。

続きまして、6ページです。図書館の施設についてということで、館内の表示や状態についてということで、「満足」「やや満足」を合計すると、92.2%。前回90.5%ということで、若干増となっております。

続きまして、7ページにつきましては図書館サービスということで、それぞれの項目が帯グラフになったものがございます。こちらの傾向につきましては、「満足」「やや満足」については、50%以下が、レファレンス、行事、パソコン利用ということになっておまして、そのほかの帯のところ、それぞれ「知っていたが利用はなし」という項目が、50%前後で、レファレンス、行事、パソコン利用というところが占めているのが特徴になってございます。そして、7ページの下棒グラフに係る項目を見ていきますと、「予約・リクエスト」、「レファレンス」についてということで、それぞれ「満足」「やや満足」を合計しますと、75.1%、それから43.1%となっております。こちらの予約・リクエストについては、前年よりも4.9%増という傾向になってございます。

続いて8ページは、それぞれの経年推移のグラフになっております。こちらのほうでも

「知っていたが利用はなし」というのが多いということが、レファレンスは特に強調されております。

続きまして9ページに移ります。9ページにつきましては、館内展示についてということで、これは展示、それから飾りつけを含んだものになります。「満足」「やや満足」を合計しますと74.9%、前年より若干減ではございますが、ほぼ同数といったところです。

行事についてでございますが、この行事の内訳は、「講演会」、「映画会」、「おはなし会」というものになっております。「満足」「やや満足」を合計すると40.1%で、前年度より3.8%増となっております。なお、行事については、注の一番下のところに書いてございますが、以前、講演会、映画会、おはなし会と分けていたものを、平成26年度から「行事」ということで一つにしたものでございます。

続きまして10ページでございますが、リユースについての「満足」「やや満足」を合計したものは51.2%ということで、前回よりも4.5%増ということになっています。

それから、下のOPAC・Webについてということで、OPACと、これはホームページの関係ですね。については、「満足」「やや満足」を足しますと、64.7%ということになってございます。こちらも注のところに書いてございますように、26年から、OPAC、図書館ホームページに分けていたものを一つの設問にしたということになります。

続きまして11ページでございますが、パソコン利用についてということになってございますが、これも「満足」「やや満足」を合計しますと、38.2%、低目でございますが、前年度からしますと、4.9%の増となっております。こちらも注のほうでは、25年までは設問を「インターネット閲覧パソコン」と「持ち込みパソコンによる無線LANの利用」に分けていましたが、これを一つにしております。

それからその下、情報発信・PRというところでございますが、こちらも「満足」「やや満足」を合計すると、54.9%となっております。前回より若干、プラス2%ということで、増えたということになります。こちらも注のところに書いてございますように、「図書館発行のおたより」というものに加えて、図書館ホームページを含む情報発信・PRとして設問を設定したということでございます。

以上が、こちらのそれぞれのアンケートの棒グラフになっています。

続きまして12ページ、自由意見の回答状況ということになります。こちらはアンケート回収数3,200枚に対して、この自由意見の記入欄に回答があったものは1,057枚と、回答率は33%ということでございます。ただ、一つの自由意見の中に複数の内容に関する記入が

あった場合はそれぞれ1件として計上したために、自由意見記入欄の回答枚数と意見数とは一致せず、意見数のほうが多くなっております。

この表でございますが、まず設問に関する意見と設問に関しない意見というものを二つに分けて、まず設問に関する意見から、肯定的意見と要望等に分けて、それぞれ件数を出してございます。これについて、主に多かった意見につきまして、どんな意見があったかを紹介させていただきます。

まず、①の「職員に関すること」で、肯定的意見100件でございますが、これについては、ほとんどの内容が、対応がよいとか親切だというようなことです。あとは、区の職員の時よりよいという回答もあったようです。それから、要望等のほうにつきましては、47件でございますけど、態度が悪いとか不愛想とか、職員により差があるといったような声がありました。

続きまして、②の「図書館の本、新聞、雑誌等の資料について」の図書・視聴覚に関することでございますが、新刊本が少ない、人気の本は冊数を増やしてほしいというのが複数出ております。その下の新聞・雑誌に関することでございますが、雑誌の種類を増やしてほしい、入れかえてほしいといった声がありました。そして、その下の書架・資料の状態に関する事で、汚れ、破れ、水濡れ、書き込みが多いといったような内容が複数ございました。

続きまして、③「図書館の施設について」でございますが、こちらは椅子、机が少ないとか、狭い、あるいは自習室が欲しい、そして室温が高いという声などがございました。

続きまして、④「図書館のサービスについて」、要望の71件の関係では、人気のある本は待つ期間が長いといったこと、また予約入力の際の画面の使い勝手が悪いといった内容でございました。そしてその下に、140件ありますOPAC・Webでの検索に関する事、これにつきましては、画面展開や検索が使いにくいなどといった声がございます。

その下の欄で、「設問に関連しない意見について」でございますけども、ご自由に意見と書いてある⑦図書館利用者に関することにつきましては、複数あった主なものとして、貸し出し返却について貸し出し期間を長くしてほしいというものや、ブックポストの設置の要望などがございます。あと、⑨は感謝ということで、106件いただいているということでございます。

続きまして、13ページ以下は各館の集計表ということで、全館とそれぞれ各館について実施したアンケートの集計表になってございます。そして、集計結果をグラフにしたもの

につきましては、各館で8月10日ごろから、結果ということで、一、二カ月間、各図書館に張り出しをしているというような状況になってございます。また今後、この各館の集計結果で、自由意見を含めて改善が必要だと思われるところは、各館で検討していただきまして、また改善の方向の検討に結びつけていくというような流れになっていく予定でございます。以上がこの区民満足度調査の28年度の結果ということで、概要をお話しさせていただきました。

続きまして、今後の図書館サービス評価の関係の報告書（案）の決定までの流れについて、簡単に説明をさせていただきたいと思っております。

今回は8月上旬に各図書館の視察に行ってくださいまして、暑い中ありがとうございます。そしてまた、ほぼ委員の皆様から評価票を提出していただきまして、現在、各館ごとにご意見を分類・整理しているところでございます。今後、各館の分類をした後、7月16日に第1回の評価部会がございまして、そちらのほうでスケジュールに基づきまして、まず会長のほうへ、各館別のものがまとまったら送付いたしまして、同時にこちらの、今度は部会の総合評価という形の案を会長と調整をさせていただきまして、原案を作成したいと思っております。そして11月19日開催予定の第3回の評価部会にその素案を提出させていただければと思っております。また同時に、各図書館にも、この評価委員さんから出させていただきました意見の整理をしたものを送りまして、改善点等、対処方針の回答をいただく予定で進めたいと思っております。その後、12月の協議会で、こちらの報告書案の了承を、図書館サービス評価ということでしていただく流れで予定しているところでございます。

以上が、図書館サービス評価のスケジュールの予定につきましても、簡単に説明させていただきました。

○副会長 ありがとうございます。

今のご説明についてご質問等ございましたら、どうぞおっしゃってください。

○委員 2ページ、実施時期を12月の1週間から6月の3日にしたと。アンケートの提示場所、そういったものの足並みがそろわないということを今回やったわけですけれども、やってみて、何か特段不都合があったのかどうか。今後は3日ということでやるメリットがあるのかどうか。それを第1点ですね。

第2点は3ページですけれども、自由意見もここに付加されると思うんですけれども、私の感じとしては、このアンケートは、4ページ以降のグラフでもわかるように、大きな変

動がなかったり、大きな減少がなかったりしたら、まあ、図書館としても満足、うまくやっているなということを知る上で、非常に重要で大切だと思うんですけども、一つは、図書館として1年間こんなことをしましたよということに利用者が気がついて、感謝をしているのかどうか。そんなこと可能かどうかは別にして、やっぱりアンケートの中にかがいが知れるようなものが浮かび上がってくるといいな、そういう工夫というのはやっぱりしたほうがいいんじゃないかなということと、自由意見の欄で、先ほど各館にフィードバックしてもらおうということですけども、各地域の図書館でいただいた自由意見については、その図書館だけでなく、図書館全体として考えなくてはいけない問題というのがあると思うんですね。自由意見の中で、全体で取り組んで真摯に伝えていくことが何らかの形であってもよいのではないかとということ。

その上で、自由意見については、書いた人は一生懸命やっているわけですから、返答をしてあげるという態度。それを各館もやるし、中央も見ているんだという工夫が必要で、今やっているのかもしれないけれども、各館に伝わり、かつ利用者にも伝わる双方向のコミュニケーションができたらいいなと感じました。それに対する意見、説明をいただければありがたいと思います。

○副会長 いかがでしょうか。

○中央図書館次長 3日のメリットとしては、回収数をごらんいただいても、1週間と3日の割には変わらないんですね。あと、A4判表裏だったのを1枚にしたことによって、ご負担も少なくなったのかなと考えてございます。このため、来年度以降も、この形で進めさせていただければと思っております。

また、自由意見のところですけども、図書館として、以前こんなことをしたということが利用者にわかるように工夫したほうがいいとか、あと各館へのフィードバック。図書館全体として考え、真摯に伝え、取り組んでいくという姿勢を利用者に分かるように伝えていくということでしょうか。

○委員 図書館に行けば、こんな意見があったんだと。これに対しては、こんな対応をしているんだというようなことが簡単にわかるようになっていたらいいなと。

○中央図書館次長 なるほど。今のポスター形式で張り出すだけじゃなくというご意見でしょうか。

○委員 いや、それでもいいんですけども、アンケートに協力してくれた方にありがとうございましたというのが、流れるような対応及び文章で伝えられるといいなと思ってい

ます。

○中央図書館次長 ポスターの記載内容については、来年度以降、ご意見を踏まえて考えさせていただきたいと思います。

○委員 今でも、実際にはやっているわけですか。こういう自由意見についてはこういうことがありましたと。これについては、できません、できます、やりましたと。

○中央図書館次長 ポスターについては、そこまで詳しくは載せられないんですね。

○委員 そこまでやっていないんですね。それは難しいことだと思うんですけども。

○中央図書館次長 ええ。1枚で表すので、紙面の都合もございまして。

○委員 自分が書いて、一生懸命考えてやったことに対して、ただ聞きっ放しというのはちょっとやっぱり悲しいので。真面目で、やればやるほどそれに対する反応というのは、やっぱり心待ちにしているところもありますのでね。何かそういうものがあってもいいなというのが私の感じです。

○中央図書館次長 ありがとうございます。ご意見は今後の参考にさせていただきたいと存じます。

○委員 多分、図書館の中に、アンケートに対してではないんですけども、何かそういう意見などに対する館長さんのご返答というのは、よく張られている館も見受けられるので、多分そういうふうに見ていただくこともできるかなと思います。

○副会長 館内にアンケート結果の掲示をされるということですけど、その同じ内容のことをホームページにも上げていらっしゃるんですか。

○企画運営係長 上げているとは思んですけど、確認をしておきます。

○中央図書館長 貴重なご質問、そしてご意見をありがとうございました。

利用者満足度調査につきましては、今回、実施期間を変更しましたが、先ほど次長がお答えいたしました、それほど有意な差はなかったわけですが、私としては、配布方法を含めて、いろいろと回収率、配布数のアップに向けた改善はできるのかなと思っています。今回3日間に変更してメリットのほうが多かったと思いますので、今後はそれを基本にしなが、配布数、回収数をさらに高めるような工夫を、次年度以降やってまいりたいと思っております。

それから、自由意見へのレスポンスの問題で、ご指摘の点はやはり図書館と利用者、区民との良好なコミュニケーション関係をつくる意味でも、出した意見について目に見える形での答えがあると、非常によい印象も持っていただける。書いたかいがあったというよ

うなお気持ちになられるということはごもっともかなと思います。

ただ、今回かなり多くの自由意見の記入がございましたので、一つ一つ、逐一ご返事をするというのはなかなか難しいと思います。まずはいただいたご意見については、当該館に全てフィードバックした上で、具体的な改善、見直しに向けた取り組みを行っていただくようにしております。その上で、利用者満足度調査の結果は運営状況報告書の中にも盛り込みますけれども、個々の意見をお寄せいただいた方へのレスポンスの仕方は、今後研究させていただければと思っております。

ちなみに、委員にご指摘いただいた、利用者の声を日常的にいただくために投書箱を全館に設置して、日常の業務の中で対応しておりますので、お寄せいただいたご意見については、何らかの形でお返しする取り組みはしているところでございます。

以上です。

○副会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

○委員 2ページの入館者数が減っているのは多分期間の問題だと思うんですけど、そもそも入館者数はどうやってカウントしているのかというところが1点と。

今の自由意見のところ、ウェブ検索というところで140件の要望が出ていて、使いにくいという話が先ほど説明があったんですけど、多分ここは各館にフィードバックされてもできないことだと思うので、どう使いにくくて、どう改善していくのかというのは、ちょっと、どう対応するのかをお聞かせいただければと。

○中央図書館次長 まず入館者数のことでございますけれども、センサーが入口にございまして、そこでカウントしております。

それと、最後の自由意見欄の140件。OPAC・Webのことですね。確かにこちらは中央図書館で管理しておりますので、お声をしっかりフィードバックできるように対応してまいりたいと考えてございます。

○中央図書館長 補足ですけど、OPAC等の使い勝手などへのご不満の声というのは、今回のアンケートでもかなり多くいただいたと認識しております。ご案内のとおり、24年度に図書館システムの更新を行い、サービス等の改善、充実に努めてきたところでございますが、OPACについては若干不具合等が見られますので、安定した運営ができるよう、ベンダー側とも調整しながら、改善に努めているところでございます。

○副会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

(なし)

○副会長 それでは、よろしければ、次の(2)番、「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」の実施報告について」についてご説明をお願いいたします。

○中央図書館次長 それでは、先般中央図書館の大規模改修に向けて幅広い区民の皆様からご意見をいただく取り組みの一つとして実施した、「中央図書館改修を考える区民ワークショップ」の実施報告書がまとまりましたので、施設整備担当係長からご報告申し上げます。

○施設整備担当係長 施設整備担当です。よろしくお願いいたします。

私のほうからは、こちら、ホチキスどめされています資料2、それからこちらの実施報告書について簡単にご説明をさせていただきたいと思います。また、実施報告書のほうにつきましては、かなりの分量がございますので、概略版のほうを中心にお話をさせていただければと思っております。

まずワークショップの実施報告ということですが、このワークショップにつきましては、今回の中央図書館改修に向けて、さまざまな区民の皆様からご意見をいただき検討していくということで開催されたものとなります。日時につきましては、6月25日、7月17日、それから8月6日ということで、3回実施させていただきました。それぞれ大体2時間から3時間程度の開催でございました。また出席者につきましては、応募は申込者49名いただきましたが、初回38名、2回目が28名、最終回は26名ということでご参加をいただきました。また、今後のスケジュールにつきましては、今回はまだワークショップの実施報告書を取りまとめたばかりですので、これから分析に入っております。また、区民意向調査等々についてはまだ完全な報告が上がってございませんので、こちらのほうも集まり次第、取りまとめの作業を行い、改修基本計画の検討を進めていきたいと考えております。そして、29年度、検討を作成した基本計画をもとに、今回、次の実行計画のほうでも出てございますが、平成30年度に改修設計のほうを進めていきたいというふうに考えてございます。

それでは、めくっていただきまして、実施報告のもう少し細かい内容だけご説明させていただきます。

まず、今回のワークショップにつきましては、さまざまな方法がございますが、幾つかの意見を皆さんに持ってもらって、それをグループに集約して、それを各班にまとめたものとして発表して、集約していくという手法をとらせていただきました。そのため、各会には、目標、ゴールを定めさせていただきました。第1回目が「改修のアイデアがぼんや

りと浮かんでいる」。そして2回目が「〇〇な図書館へ改修という文言を決め」ていく。そして、このステップを踏まえた上で「改修計画図を完成」させる、という内容になってございます。

実施報告書のほうにつきましても、大きなワークショップの進め方、それから第1回、2回、3回、それぞれ私どもが説明させていただいた内容、それから参加者の皆様がワークシート等にまとめた内容を漏らさず記載させていただくという形でまとめてございます。

最終的に今回二十数名、大体半分ちょっとぐらいの皆さんがずっと参加させていただいたんですけれども、最終的に7班に分かれまして、3番にございますとおり、テーマが七つ出ました。ちょっと、読み上げると時間がかかりますので、割愛をさせていただきますけれども、こちらのテーマに基づいて、最終的には第3回目に図面に皆さん落とし込んでいったという内容になってございます。

簡単に取りまとめてお話をさせていただきますと、各ワークショップの皆さんのほうからやはり多く出てきた意見といたしますのが、閲覧スペースをもっと広くしてほしいという意見がやはり多かったです。それから、今現在ですと、どうしてもスペースで間仕切りがあるところがございますので、落ちついて、あるいは複数人で調べ物ができる場所が必要ではないか。また、今、中央図書館については地階に喫茶室がございますけれども、そこだけでしか飲食ができないのではなくて、もう少し飲みながら読書ができる場所が欲しい。ワークショップの中では、報告書の中では、結構皆さん「カフェ」という言葉を使っていますが、これは飲食できる場所が欲しいということで、皆さんご意見を寄せてくださっています。簡単に申し上げますと、こういったものを皆さんご希望されておりました、そこからさらにさまざまな意見がございますので、こちらをまたお目通しをいただければと思います。

また、最後にアンケートのほうを実施させていただきまして、参加者の皆様からご回答いただいております。この中で「面白かった」とか「高まった」等々ございますが、「どちらともいえない」という意見等もございますが、この辺の意見を出された方は、もう少し時間が欲しかったという意見も多くございました。私どもも、時間については、やはり短かったのかなというところは反省しているところでもございます。ただ、参加されている人数を見ますと、やはりなかなか、3回集まっていたくというのかなり負担が大きいのかなというところで、非常に難しかったかなというところを実感しているところがございます。

また、こちらの報告書につきましては、まだでき上がったばかりでございますので、参加者の皆様につきましては、こちらをカラー印刷させていただきまして、各自にこれから郵送で発送させていただきたいと思っております。また、印刷するデータにつきましては、10月上旬、参加者皆様に発送が終わった後に、ホームページのほうにもアップする予定でございますので、そちらのほうもごらんいただければと思っております。

私からは以上でございます。

○副会長 ありがとうございます。

○中央図書館次長 今回の区民ワークショップを初めとして、区民意向調査とか区政モニターアンケート、そして今後予定している荻窪中学校のワークショップ、中・高校生のアンケートなどを通じて、皆様からいただいたご意見を取りまとめて、今後の改修基本計画などの検討の中に生かしていきたいと思っております。また、後ほどご説明いたしますが、実行計画（案）に記載のとおり、来年度までが改修の検討期間となっておりますので、年度をまたいで丁寧に計画策定に向けて検討を進め、よりよい図書館づくりを目指してまいりたいと考えております。私からは以上です。

○副会長 ご質問等はございますか。よろしいですか。

七つの班に分かれたグループディスカッションの成果がこんなふうに表示内容にまとめられておりますが、雑駁な印象ですけれども、図書館サービス基本方針に沿った形で出ているのかな、皆さん同じようなことをお考えなのかなという、思いましたが。

ご質問がございませんようでしたら、次、行ってよろしいでしょうか。

○中央図書館長 その前に、主催者側ということで、全体を通しての私なりの受けとめ方を改めてお話しさせていただきたいと思っております。

○副会長 どうぞ。

○中央図書館長 今回、ワークショップという、図書館側としても初めての試みでしたけれども、応募いただいた方は小学5年生のお子さんから90歳のご高齢の方まで、非常に幅広い世代の方が、同じテーブルで、考え方、価値観は異なるものの、一つのテーマで活発な議論をしていただき、ユニークな、目からうろこのようなご提案を含めて、いろんなアイデアをお出しいただいたワークショップになったと思っております。

とはいえ、係長からも説明の中でございましたとおり、時間の制約というんですかね、もう少し話をして議論を深めたかったというお声もあったとは思いますが、それを上回る成果がこういう形でまとめられたことは、私自身は非常にうれしく思っています。

さきほど、副会長がおっしゃられたとおり、各班からいろいろなご提案をいただいておりますけれども、総じて図書館サービス基本方針で掲げている図書館像、あるいは取り組みの方向と符合する、軌を一にするようなご提案が非常に多く、協議会の皆様と一緒にまとめてあげたサービス基本方針ですが、改めてよかったなど、また、そうした期待を受けとめてしっかりとやらなければいけないという気持ちでおります。

特に、いわゆる従来型の図書館というのは資料提供中心のサービスを行う図書館だとすると、今回、各グループからいただいたお声というのは、本や情報を介して新しい知を創造していくような場としての図書館、それから人や地域がつながる交流拠点としての図書館、それから、何よりも、もう少しそこにおいて快適で、居心地がよい滞在型の図書館、そういうものを望まれている方が非常に多いのだと改めて感じました。

また、時間がない中ではございましたけれども、各班からは、これからの中央図書館のフロアごとの部屋とかスペース、あるいはゾーニング、間取りですね、そういったことについての具体的なアイデア。それから何よりも閲覧席、閲覧スペースをもっと増やしてほしい。あるいは調べ物、読書、あるいはパソコンを使用できるようなスペースの拡充。さらにはくつろぎ、あるいは会話ができるようなスペースがもう少しあるといい。それから、カフェ的なラウンジですね、そういったスペースもあるといいなど。あと、周辺は読書の森公園も含めた緑豊かな環境にございますので、そうした環境をもっと生かして、そこと連続したような環境、空間にしたらどうかというようなご提案もございました。我々としては非常に幅広いさまざまなご意見をいただいておりますので、今回のワークショップのほかにも、区民意向調査をはじめ、区政モニターアンケート、中・高校生アンケート、さらには荻窪中学校の生徒さんからの意見などもいただくべく取り組んでおりますので、それらを集約してどういうふうに基本計画の中に生かせるか、しっかりやらなければなどというふうに改めて気持ちを新たにしているところでございます。どうぞよろしく願いいたします。

○副会長 改修設計が再来年度ということですので、割と時間がございますが、どうぞ。

○中央図書館長 そうですね。また、今後の取り組みの進捗に応じて、協議会の皆さんからもご意見などをいただく機会を設けてまいりたいと思いますので、その節はよろしく願いいたします。

○副会長 ほかにございますか。

○委員 私はこのワークショップを3回傍聴いたしました。説明のとおり時間不足という

ものを感じて、最終日、皆さんゾーニング図を設計されていましたが、中にはやっぱり完成まで至らなかったという班もあったかのように見受けられます。

それで、昨日このワークショップの概要をいただいて、ああ、概要だからきっと詳細が出てくるであろうということ、今日はすごく期待して来ました。そうしましたら、早速、実施報告書という形でできていましたので、あ、できてきたんだということで、よかったなと思っています。

ただ、今後、その改修計画が、2年間検討があって設計に移るんですけど、そのときにさまざまな意見をさまざまなやり方で募集するという説明ですけど、今、利用者満足度調査という調査があって、未利用者に向けた調査もそろそろ始まったかと思うんですけど、どうして図書館を利用しないのですか、というようなものを……

○中央図書館次長 区民意向調査等のことをございますか。

○委員 はい、そうです。その集計もできれば、ぜひ、まとまったところで見たいと思っています。

あと、先ほどにちょっと戻ってしまいますが、利用者満足度調査の一番最後の自由意見、肯定的な意見はよろしいので、その要望とあった意見、幾つか重なっているような意見も多いかと思いますが、生の声ということで、以前はたしかこの利用者満足度調査の中に、こんな意見があったというのが一覧で、もう箇条書き程度であったかと思いますが、肯定的な意見はもうそれは結構ですので、こういうことを要望しますというものが一覧としてあれば、各図書館も私たちも、そういうことを利用者の方は望んでいるということがわかるので、よいかと思います。

また、このワークショップの実施報告書を参加された方に送られると思うのですが、参加された方がまた何かご意見があるということで、OB会ではないですけど、ワークショップのそういう集まりのようなものは計画されているのでしょうか。

○中央図書館次長 現在のところでは、幅広いご意見をいただくということで、皆様からはワークショップでご意見をいただいたということで、OB会というのは、特に考えてはございません。

○委員 そうですか。何かやりっ放しにならないようにとか、もう一番、その、ワークショップの第1回目の第一声の質問が、このワークショップというのが、ただのアリバイ証明というか、やりましたよというそういうことにならないように、この結果が本当に活かされるようなことを、自分たちにもきちんと公開してわかるようにという質問があったか

と思うので、その辺はやっぱワークショップに参加された方には、少なくともお示ししていただけるのかなというふうに、私はちょっと思ったんですが。

○中央図書館次長 参加者の方にはこれをお返しするのと、これは登録印刷物ですので、図書館にも置きますし、区役所のほうにも置きます。

○委員 それに対して意見が来たら、また、それはどこかに集約されるんでしょうかね。私たちが例えば——例えばの話ですけど、これは私たちが言っていたものとちょっと違うとか、まあ、そんなことはないと思うんですけど、そういう意見みたいなものが都合よく解釈されているんじゃないかとか。そういうものがあれば、何かどこかで窓口があるのかなと思いますけど。

○中央図書館次長 皆様からいただいた意見はできる限り生かしてまいりたいと思うんですけども、報告書をごらんいただいてもわかるとおり、2階に児童コーナーをというご意見もあれば、違うところというご意見もある。それを全てというのはやはり無理です。区民意向調査等、ワークショップ、中・高校生とかのアンケートもございまして、そちらとあわせて、できる限り生かしてまいりたいと考えております。

○委員 わかりました。

あと、このワークショップとは別問題なんですけれども、私は今回の評価の中でもたしか書いたんですが、この改修をするに当たって、実際に働いている方たち、職員の方たちとか、あと委託で働いているTRCの職員の方たちからの意見というのが全くどこからも聞こえてきていないので、実際に動いている方たちは改修についてどういう要望というか声をお持ちなのかというのを、いつか聞かせていただきたいと思っているんですけど。

ワークショップとは別なんです。

○中央図書館長 今の最後のご指摘は、ご意見としては参考として受けとめさせていただきますけれども、委託のスタッフの方に直接改修についてのご意見をお聞きするというのは、ちょっと筋が違うと思います。日常的に適切に業務が行えるよう、事業者のほうとは日々情報共有しながら、また、意見・要望があればすり合わせしながら、サービスの充実につなげるような方向で取り組んでおります。当然、施設の作業環境等で何か問題点等、があれば、通常の中でいろいろご意見いただいていますし、指摘いただいた事項の中に今回の改修の中で改善すべき点があれば、その辺は十分我々が責任を持って対応していく考えですので、何か事業者のスタッフの方々にアンケートして、それをまた協議会にフィードバックするとかということは考えておりません。

○委員 そうですか。

○副会長 先ほどの、少し話が戻った部分ですが、満足度調査の自由意見の要望の部分について、生の声を聞かせていただきたいという話がありましたけど、その点についてはどうでしょうか。

○中央図書館長 最終的に取りまとめる運営状況評価報告書、冊子状のものですね、その中には、利用者満足度調査の結果をご紹介するのとあわせて、肯定的な意見、あるいはいろんな批判的なお声、改善すべきお声などを含め、主な自由意見を盛り込んだ形で例年発行しておりますので、利用者、区民の皆さんへの情報提供という点では、そういった形で対応していきたいと思っております。

○企画運営係長 この自由意見につきましては集約した形で、今年度でしたら運営状況報告書の一番後ろのほうでまとめた意見程度に載せさせていただきます。かなり細かいものになりますと、それぞれ個別の内容になってまいりますので、膨大な量になってしまうというところもありまして、そういう方法で集約をさせていただきます。

○副会長 よろしいでしょうか。

(なし)

○副会長 それでは、次、(3)ですが、杉並区実行計画(案)等の改定について、お願いいたします。

○中央図書館次長 杉並区実行計画等の改定(案)についてご説明いたしますので、冊子をご用意いただけますか。実行計画からご説明申し上げます。

開いていただいて、2枚目の裏のところに図書館について記載がございます。まず、図書館サービスの情報化の推進ですが、「電子情報サービスを活用し、区民ニーズに対応した図書館サービスの向上を図るため、現行の図書館システムの適切な運用のほか、行政資料等のデジタルアーカイブ化、D A I S Y資料の周知・充実を進めます」ということで、4項目出しております。3年間で、まず行政資料のデジタルアーカイブ化の検討が、年度末の見込みなんですけど、それを推進してまいりたいということと、有料データベースについては、今10件あるのを充実してまいりたいということ。あと、今年度までに190タイトル保有予定のD A I S Y資料を充実し、区内大学図書館との連携を実施してまいりたいということが記載してございます。

次に図書館の整備のことですが、「設備等の老朽化に伴い、中央図書館の改修工事を行うとともに、永福図書館についても、移転・改築します。また、老朽化している

高円寺図書館の移転・改築について、高円寺地域における新たな図書館のあり方と合わせて検討していきます」ということで、29年度も改修検討、30年度に設計を行いまして、31年度は工事に入るという形で進めていきたいと考えてございます。

次、地域図書館の13館ですけれども、そのうちの高円寺図書館について、改築はこの3年間の中では検討。新たな図書館についても検討。永福図書館については、改築の設計に29年度にもう着手しますということで、29、30年度設計、31年度は工事に入るということ、こちらの計画に記載してございます。

次に施設再編整備計画のほうに移ります。第一次実施プランの29・30年度の改定案でございます。

お聞きいただきまして、学校施設の関係で関連する記載がございます。まず22ページのところをお聞きいただけますか。ここに、下から7行目、統合後の杉並第八小学校の跡地について、既存の建物は築後49年間経過し老朽化しているため解体・撤去することとします。そして、防災スペースを確保し、特養ホーム・保育所の建設を推進します。あと、老朽化している近隣の高円寺図書館の移転先として、図書館と地域コミュニティ施設との複合施設を整備することを基本に検討を進めます。複合施設については、乳幼児親子の居場所となるスペースの設置、中・高校生の居場所としての活用も検討するということが記載されています。

次の24ページの枠の中の一番下をごらんいただくと、今申し上げた統合後の杉並第八小学校跡地の活用策を検討で、こちらは29年度まで検討、30年度方針決定ということになってございます。

次ページの児童館・学童クラブ等に移ります。27ページですね。下から16行目、真ん中より少し下のところ、「中・高校生の新たな居場所づくりの検討」、このところで、「中・高校生の新たな居場所づくりについては、第一次実施プランでは、移転後の永福体育館跡地及び統合後の杉並第八小学校跡地で検討している、地域コミュニティ施設と図書館などの複合施設のスペースを活用することを視野に検討を進めます」ということで、次ページ、28ページのところには、下から四つ目の箱の中に、「中・高校生の新たな居場所づくりの検討」ということで、検討を30年度まで進めると書いてございます。

次に、図書館について主に書いたところ、文化・教育施設ということで、36ページに移ります。36ページには図書館施設の概要が書いてございまして、その下の米印のところ、中央図書館、地域図書館以外に、サービスコーナー、ふれあい図書室など、あと地域区民

センター図書室を設置しているということと、配置図が記載されています。

37ページなんですけれども、図書館等について、上のほうが7地域14館（1地域当たり2館）構想に基づき今まで整備してまいりましたが、高円寺地域だけまだ1館で、2館目となる図書館整備が課題となっています。既存13館のうち、中央図書館については設備等の老朽化により改修工事が必要となっており、永福・柿木・高円寺・宮前の4館についても、老朽化対応が課題となっているということで、図書館における蔵書規模について、資料の利用状況等を踏まえて、計画的に適正化を進め、改築時には施設全体の規模のスリム化を図っていく必要があります。また、これからの図書館の改築等に当たっては、地域コミュニティ施設との複合化・多機能化によって、杉並区立図書館サービス基本方針に掲げる図書館像の具現化を図ってまいりたいということです。下に、サービス基本方針の説明が

次ページ、38ページに移ります。具体的な取組についてはこちらに記載されています。

まず、高円寺地域の新たな図書館などの検討が一番上にございます。高円寺地域の2館目となる図書館については、地域住民の利便性の向上を図る観点から、高円寺駅前図書サービスコーナー、和田図書サービスコーナー、馬橋ふれあい図書室の見直しとあわせて、引き続き整備候補地等の検討を進めてまいります。

老朽化した図書館の改修、移転・改築ということで、中央図書館については、設備の老朽化により、大規模改修により必要な保全を行うとともに、図書館機能・サービスの充実を図ってまいります。永福図書館については、地域コミュニティ施設などとの複合化を基本に、永福体育館が旧永福南小学校へ移転した後の跡地への移転・改築による整備を図ります。高円寺図書館については、地域コミュニティ施設などとの複合化を基本に、統合後の杉並第八小学校の跡地へ移転・改築するための検討を進めます。柿木・宮前図書館については、他施設との複合化・多機能化を図るなど、改築に向けた検討を進めてまいります。

ということで、右側の39ページの上の箱の中に今申し上げたことが全て書いてあるんですけれども、中央図書館が平成30年度設計になっているのと、高円寺図書館の移転・改築が30年度に方針決定になっていること以外は、30年度まで検討となっております。

次の40ページです。(8) 体育施設のところです、少し記載がございますのが、隣の41ページの上から12行目ですね。「移転後の永福体育館跡地については、保育所のほか、移転改築する永福図書館と、地域コミュニティ施設との複合施設を整備することにより、杉並区立図書館サービス基本方針に掲げる「楽しい交流区間」等の実現を図ります。この複

合施設では、乳幼児親子の居場所となるスペースの設置や、中・高校生の居場所としての活用も検討します」ということで、下の二つ目の箱の中には、永福体育館跡地の有効活用の策の検討ということで、29年度最初まで検討で、それ以降、設計・解体という流れになってございます。

こちらの説明については以上でございます。以前メールでお送りしていますので、ごらんいただいているかとは思いますが、ただ、たくさん分量がございまして、どこに書いているかがわかりにくかったと思いますので、抜粋して、今日をご説明いたしました。

○副会長 何かご質問等はございますか。

○委員 この実行計画と、あと施設再編計画を8月の末にメールで送っていただいて、9月1日から、区の説明会が始まったんですね。西荻地域区民センターを出発して。私は西荻地域区民センターの説明会に行きました、あれをいただいたので。私が思っていた説明会とはちょっと様子が違っていたんですけど、やっぱり図書館に関係するところをざっと読んだときに、目立っていたのが、やっぱりスリム化、コンパクト化という文言と、あと楽しい交流空間というところが、私は個人的に目についたんですね。

楽しい交流空間というのは、やっぱりその最初にある学びの場と知の共同体なくしては、やっぱり図書館における何か楽しい交流空間というのはないんじゃないかなというのを実は考えていて。だけど、そこをあえて、先ほど館長がおっしゃいましたけど、区民の皆さんがたくさん参加されて、いろんな方が利用できる場所というふうなことを考えて、楽しい交流空間が出てくるのかなと思ったんです。

ただ、その楽しい交流空間がひとり歩きしないでほしいなというのをすごく私は願っています。今の図書館の風潮を近隣図書館とかで見ると、やっぱり滞在型で複合施設というのが多くなっていて、いろんなことを考えると、これから図書館も複合化にならざるを得ないのかなというのも、もちろん思っています。今川図書館もそうですし、方南図書館もそうです。ただ、その楽しい交流空間の中で、スリム化、コンパクト化も一緒に言われていて、私が一番危惧しているのは、やっぱり蔵書が減っていつかは困るなということをすごく危惧しています。

もちろん、前回、除籍、廃棄の基準書ができたということで、もう、それにのっつての廃棄ということになると思うんですけど、廃棄ありきというのもちょっとどうかなと思って、私ちょっと、ネットでですけれど、よその行政というのは、廃棄基準とかそういうのってどんなふうになっているのかなと思って、ネットで公開しているような行政だけです

けど、見てみたんですね。そしたら、つくっているところは幾つもありました。けど――その中身も公開しているところもあったんですけど、杉並区ほど、こう、往々にして細かくないというか、NDCの、もう本当に大きい番号順に、これはこういうふうだからこうやって廃棄しようなんていうのは余りなくて、やっぱり廃棄をする資料というものを、こういうものを廃棄していくという、めどがきちんと立ててあるというか、その陳腐化したから何とかという言葉はどこも使っていないです。データが古くなって利用できなくなったとか、汚れとか水濡れとかそういうものとか、書き込みとか、そういう記入は具体的にあるんですけど。ましてや購入後5年というところは、ちょっと私が見たところでは、なかったです。

あと一つ思ったのが、ああいうふうに杉並区はきちんとこのたび除籍と廃棄に関する基準が設けられましたけど、基準をきちんと整備するよりも、行政の公共図書館とかを見てみると、資料をどうやって収集するかという、そちらのほう为重きを置かれていて、ここはこういうところだから、こういうことを目標にして資料を集めていくということが明らかになっているんですね。

杉並区は図書館サービス基本方針というのが一番最初に来ているんですけど、どういう図書館にしたいというのがあって、それで、資料はどんなふうにしていくかということがあって、その廃棄とか除籍に関して事細かな規約があるようなところは余りないんだというのが、私の勉強不足なのかもしれませんが、今回、ちょっと見て思ったことです。

本当に除籍と廃棄基準を見て思うのが、その最後の1冊をもう守るということなんですけど、その最後の1冊が本当に汚れとか水濡れとかになっていたときに、なくなっていつているんだなというのを、私は杉並の図書館で実感しています。あったはずのシリーズ物の中のものが、最後の1冊だったのがなくなったなと思うんです。杉並区の運用というのは、直営館あり指定管理あり業務委託ありで、資料の選定会というのがあるのと同じように、もしかして除籍みたいなのが毎月どこかで誰かが集約して、やっているわけじゃないですか、各館がそれはやっていると思うんですけど。だから、その最後の1冊というのは、恐らく私たちが見るように、この館にはもうなくなって、この館にしかないんだとか、あと保存庫にしかないんだなというのはわかると思うんですけど、でも、なくなっていたりするんです。

だから本当に、その陳腐化というのをどなたが判断されて廃棄されているのかなというのを、とっても危惧しています。図書館は本を生かして、本がないと成り立たないと思う

ので、膨大になり過ぎたところはないと思いますけど、これからアイテムを残していったとしても、新刊がどんどん出てくるということであれば、本はふえ続けるでしょうし、新しい高円寺地区の2館目も含めて、保存庫というのを、まだまだ続く改修計画の中に、どこかに入れていただきたいというのが希望としてあります。

私が参加した西荻地域区民センターで、一区民の若いお母さんたちがスリム化は反対だということをおっしゃっていましたので、こういう人たちも図書館を利用して困ると思っ
ていらっしゃるというのを痛感したので、申し上げました。

○副会長 今のお話は、スリム化が書庫機能の縮小につながるんじゃないかというお話ですよね。

○委員 はい。私もそれも不勉強で確かではないんですけど、地域館建設のときには、その施設面積というのが、地域館1,100㎡程度というのがどこかで何かあったんですかね。私もそれもきちんと調べていないのでわからないんですけど、そういうことを、実は文庫サークル連絡会で、古い人たちがたくさんいるので、その席で地域館は1,100㎡。方南はそうではないんですってね。

○中央図書館次長 そうですね。

○委員 方南図書館は、何か保育所と併設で、815㎡と書いてありますよね。今日いただいた13ページのほうに施設の概要というのが出ているんですけど、その施設面積というところなんですけど、地域館は少なくとも1,100㎡というのを協議会に以前出ていらした方たちがおっしゃっていたので、私も質問で、どうなんですかということをお聞きしたいと思ったんです。協議会に出られていた、年代を分けて2人の方が、地域館は1,100㎡——というのが目安なのか基準なのかはわかりませんが、そういうことをおっしゃっていました。そうすると、幾ら複合施設になったとしても、図書館の1,100㎡というのは維持・確保できるようにお願いしたいと思いました。

○中央図書館次長 建設された当時と社会を取り巻く状況は変わり、人口構成も変わってございますので。

○委員 その辺もそうですけど、1,100を維持していただくと、図書館はいいんじゃないかなと思います。その数字がどういう数字かは私も不確かで申しわけないんですけど、この機会にお尋ねしたいと思いました。

○中央図書館長 非常に多岐にわたるご質問をいただきました。はじめに、最後のご質問ですけれども、図書館整備に当たっての標準的な施設規模ということで、1,100㎡云々と

いうお話がありました。これは、図書館要覧のところに図書館史の年表がございますけれども、実は昭和63年に区のほうで長期行財政計画を策定して、その計画の中に、杉並区では、七つの地域割がありますけれども、1地域に2館の地域図書館を今後計画的に整備しますよということが、初めて盛り込まれました。

そして、標準的な施設規模として、地域図書館の建物は1,100㎡という数字が初めて明らかにされました。これを基本に、その後、地域図書館の開設が進んだという経緯がございます。ただ、あくまで標準でございますので、当時でも、例えば成田図書館などは、敷地条件等々の制約もございまして、たしか延べ床面積も850㎡くらいだったと思います。あくまで標準ですので、敷地を含めた具体的な与条件の中では、さまざまな規模の地域図書館が建設されてきたという経過がございます。

それで、当然、現在は当時と社会経済状況あるいは人口構成などが変わってきていますし、住民の皆さんの区政に対するニーズもかなり変化してきています。ですから、その当時の考え方は、金科玉条で今でもそれを基本にというわけにはまいりません。区民のニーズの変化に対応した区政を進める必要がございます。そういう大きな流れの中で、高度成長期に整備されてきた区の施設が老朽化に伴いそろそろ一斉に改築時期を迎える中で、それをそのまま単体として建てかえるというわけにはなかなかいかない。むしろ区民ニーズに必ずしも即した対応にならないということで、大きな考え方として、区立施設の再編整備、とりわけさまざまな区民のご要望に応えるためには、施設を単体で建て替えるのではなくて、複合化や多機能化を図ることで、効率化ということとあわせて、さまざまなニーズに的確に応えていく。そういう考え方を基本に、区立施設再編整備計画が策定された経緯がございます。

その中で、図書館もコミュニティ施設等々との複合施設化ということが大きな方向になってくると思いますけれども、整備に当たっては当然図書館としての基本的な機能、これをしっかり確保した上で、時代の変化や利用者ニーズに合わせた図書館施設を整備していくというのが我々の考えでございます。そのよりどころとなるのが区立図書館サービス基本方針であり、そこに掲げられている図書館像の具現化を目指していくということでございます。ただ、施設再編整備計画の改定案では、今、委員のご指摘にあったとおり、「楽しい交流空間等」という表現になっていますが、施設の再編整備に重きを置いた計画ですので、とりわけ三つの図書館像のうちの一つ「楽しい交流空間」という言葉をお示ししたということで、他の「学びの場」「知の共同体」、これを何かないがしろにして施設整備

を進めていくということは全くございませんので、その辺はご心配のないようお願いしたいと思います。

それから、スリム化・コンパクト化によって、図書館機能が損なわれ、資料を提供するという図書館本来の役割や機能が後退するのではないかというご懸念もあったようです。区としましては施設再編という取組の中で、図書館に限らずさまざまな公共施設は、時代の変化などに合わせたありようを志向していかなきゃならない。そういう中で、膨大な数が出版される印刷物、一方で図書館の限られた所蔵スペース、この辺のバランスをどう図るかが大きな課題となります。各自治体の公共図書館はこれまで一般的な資料収集方針等を定めていますけれども、除籍等を適切かつ丁寧に進めるためには、もう少し現場での判断のよりどころになるような詳細な考え方を盛り込んだものが必要だろうということで、今回、除籍等の新たな基準をつくって、それに基づいて、我々としては一冊一冊、その資料価値、利用状況などを総合的に考えながら、蔵書規模の適正化の取り組みを始めたところでございます。今後も、5年たったから捨てるとか、そんな乱暴なことは一切するつもりはありません。利用者の知る権利に配慮しながら、より魅力のある、しかも鮮度の高い蔵書構成を維持できるよう取り組みを進めて、今後も区民の皆さんの知る自由、あるいは情報や本へのアクセス、これをしっかり保障してまいりたいと考えているところでございます。

○副会長 ありがとうございます。

それでは、今回の(3)の実行計画の改定について、については、これでよろしいでしょうか。

(なし)

○委員 私がここで再度蒸し返して申しわけないんですけども、ワークショップのところで、テーマと発表内容を説明していただきましたけれども、聞いたときに私の感じたことは、図書館には既に基本コンセプトがある中で、なぜ、わざわざこのテーマを参加者に一つずつつくらせたのかなど。そこで疑問が二つ、私には出てきたわけです。これまでのテーマあるいは基本コンセプトとしてあるものと、これをどういうふうに整合させるという形で、これをこういうふうに文書として残しているのか。

二つ目は、そんなものがなくても——そんなものなんて言ったら怒られちゃうかもしれませんが、この個別的なことで、ここに書いてあることは、まさに皆さんが望んでいる、本当にやってほしいことだろうと思うんですね。そうすると、そのワークショップという

のは、具体的にこういう希望があるということを引き上げればいいんであって、そのコンセプト・基本方針に関することをこういう言葉であらわして、じゃあ、これまでのいわゆる図書館要領とかそういうものにこれが合ったものという形で、今後これが俎上についてくるという考え方でいいのか。これはただワークショップで話しあわれたもので、これはこれで終わりですという形で捨て去れるものなのか。その疑問ができたものですから、これは聞いておいたほうがいいなど。それが私の趣旨です。

○副会長 はい。というご質問ですが。

○中央図書館次長 テーマをおつくりいただいたのは、やはり、いきなり図面に落としていただくというのは難しい。なかなかイメージが湧きにくいだろうということで、順を追って、まず中央図書館について、1日目は知っていただく。それで、どういう図書館にしたいかというのを、頭の中で方向性を言葉で思い描いていただくということが2日目。それを実際に図面に落としていくのが3日目という形で、順を追って行いました。

皆さんが望んでいることを、希望をとればいいというお話だったんですけど、ただ、2日目に書いていただいていることも、私どもにもこういうことを望んでいらっしゃるんだというのがわかりますし、今後の中央図書館の改修の基本計画づくりに当たっても十分に生かせるものがたくさん含まれていますので、いただいたご意見は捨て去るということはもちろんなく、改修基本計画に活かしてまいりたいと存じます。

○委員 具体的なところは、僕はそうやって理解できますけれど、このテーマと称するところを一生懸命読んでも、わかるところと、ほとんどわからないところがある。例えば「建物を活かし活動を創る職員を活かした図書館」。「活動を創る」、これは言葉としてどういう意味なのか、私にはわかりません。「知の拠点」である。これはわかりますけど、「情報が自然に目に入ってくる」、情報というのはきちっと見て、見るだけの問題じゃなくて、読まなきゃいけないというのが知の拠点だと思うんですね。そういったことをやると、このテーマの中には非常に矛盾がありますので、なぜこれを取り上げて、そしてここで論じているのかなという疑問です。

○中央図書館次長 このワークショップにおいて、お一人お一人いろんな意見をお持ちだとは思いますが、それをお出しいただきました。

○委員 だったら、これに一つにまとまるということはないんじゃないんでしょうか。それぞれみんなに、まとめる必要はないものをまとめたという感じがしたものですから、聞いているわけです。

○委員 それをまとめる必要が本当にあったのかと。その、いわゆるワークショップを主催された方。

○施設整備担当係長 すみません。実は、ちょっと説明を早目にしてしまったので、ご理解が難しかったところがあったということで、申しわけございません。

まずワークショップで班を分ける際に、皆さんで、こんな図書館にしたいというもので、似通ったものでまとまっていたんですね。グルーピングをしていただいたんです。そのときに、まず、その似たような意見を持っている皆さんで一つのキーワードをつくって、そこを中心にしながら設計図面を引いていくような指針としていきたいと思いますということで、羅針盤としたということなんです。あくまでもこのワークショップの中で、各班の皆さんが自分たちの意思統一をする中で使いやすいものをご用意したというところがございますので、いろんな方の意見が入っていますので、わかりにくい部分もあるかとは存じますが、ワークショップを円滑に進めていくためのテクニックの一つとしてご用意させてもらったものでございます。

○副会長 よろしいでしょうか。

○委員 はい。

○副会長 それでは、(4)のその他に入りますが、本日は審議事項はございませんで、その他につきまして、事務局から何かございますでしょうか。

○中央図書館次長 それでは、お手元に区内大学図書館との連携で行っているこちらの「ことばと文字とテクノロジー」。10月22日に行う講演でございますが、京王井の頭線の明大前から徒歩5分の明治大学の和泉キャンパス、図書館ホールで開催いたします。図書館ネットワーク事業の一環として実施しますので、お知り合いの方とお誘いあわせの上ご参加いただければ幸いですし、今この場でお申し込みいただけるんだったら、挙手いただければ承りますが、ご都合のほうはいかがでしょう。

○委員 託児はないんですか。

○中央図書館長 閉会した後、もし興味のある方は、事務局のほうに参加のご意向などをお示しいただければと思います。その際、託児の関係もお答えしますので、よろしくお願ひします。まだ定員に余裕がございますので、委員の皆さんだけではなくて、お知り合いの方がいれば、ぜひお声がけいただければと思っております。よろしくお願ひします。

○中央図書館次長 次にもう一枚、10月15日土曜日から申し込み受け付けをこちらは行うものなんですけれど、石井桃子さんの映画会と展示についてのチラシがお手元にございま

すので、ごらんいただけますか。こちらは中央図書館で行います。今日から展示のほうはごらんいただけるようになりましたので、来月30日まで2カ月間ですけれども、お時間があればぜひお立ち寄りいただければと思います。よろしく申し上げます。

○委員 杉並とは何か特別な関係というのがあるんですか。

○中央図書館次長 石井桃子さんのかつら文庫が、中央図書館のすぐ近くにあります。

○中央図書館長 石井桃子さんは荻窪に在住で、そのお住まいのほうでかつら文庫を開設されて、本と子供たちを結びつける先駆的なお仕事をされてきた方で、杉並区の名誉区民でもいらっしゃいます。

○副会長 そのほかに何かございますか。ございませんようでしたら、次回の日程なんです。次回は。

○中央図書館次長 それでは、次回の日程調整をお願いします。次回、12月10日土曜日を考えているんですが、皆様のご都合はいかがでしょう。

○委員 すみません。10日の日は、ちょっと出席ができません。

○中央図書館次長 ほかの委員はいかがでしょう。大丈夫でしょうか。

○委員 まだわからないです。すみません。

○副会長 全員の出席は難しいようですけども、一応12月10日ということで。

○中央図書館次長 よろしく願いいたします。

○副会長 予定の時間を若干オーバーしましたけれども、これで第3回の図書館協議会を終了いたします。どうも、ご協力ありがとうございました。

○中央図書館長 どうもありがとうございました。